

氏名	岸井こずゑ	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	微生物学, 臨床微生物学, 感染制御学				
学位	博士 (医学)				
学歴	1998年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業, 2008年順天堂大学大学院医学研究科感染制御科学博士課程修了				
経歴	1998年東京大学医学部附属病院 臨床検査技師, 2005年Public Health Research Institute (New jersey, USA) リサーチフェロー, 2008年北里大学北里生命科学研究所 研究員, 2011年東京大学大学院医学研究科 特任助教, 2014年東京工科大学医療保健学部 助教, 2018年埼玉県立大学保険医療福祉学部 准教授				
所属学会 (役職)	日本臨床微生物学会 (評議員, 国際委員, 精度管理委員), 日本感染症学会, 日本化学療法学会, 日本臨床検査学教育協議会 (編集委員), 日本臨床衛生検査技師会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	臨床検査学教育 教育機関紹介 埼玉県立大学	単著	あり	日本臨床検査学教育協議会、12 (1) 94-97	岸井こずゑ	2020.3
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Differences in biofilm formation and transcription of biofilm-associated genes among <i>Acinetobacter baumannii</i> clinical strains belonging to the international clone II lineage	共著	あり	Journal of Infection and Chemotherapy	Kozue Kishii, Masakaze Hamada, Kotaro Aoki, Kengo Ito, Joh Onodera, Yoshikazu Ishii, and Kazuhiro Tateda	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	黄色ブドウ球菌は鼻腔より咽頭で入れ替わりやすい	共著		第91回日本細菌学会、札幌市	○村井美代、岸井こずゑ、田野ルミ、前川純子	2019.4
2	河川・沿岸流域由来 <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> に対するキノロン系抗菌薬の感受性について	共著		第67回日本化学療法学会、東京都文京区	○岸井こずゑ、村井美代、森屋恭爾、花尾麻美、岡崎充宏	2019.5
3	血液培養由来 <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> におけるキノロン耐性遺伝子 <i>Smqnr</i> 保有状況の解析	共著		第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○櫻井杏子、宇佐見彩香、金井塚佳奈子、武井愛里咲、村井美代、岸井こずゑ	2019.12
4	河川由来 <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> におけるキノロン耐性遺伝子 <i>Smqnr</i> 保有状況の解析	共著		第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○武井愛里咲、宇佐見彩香、金井塚佳奈子、櫻井杏子、村井美代、岸井こずゑ	2019.12
5	MALDI-TOF MSによる <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> 同定評価	共著		第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○宇佐見彩香、金井塚佳奈子、櫻井杏子、武井愛里咲、村井美代、岸井こずゑ	2019.12
6	健常者の保菌調査で見つかった MRSA の解析	共著		第47回埼玉県医学検査学会、さいたま市	○京野那奈美、阿部恵利子、梅田春香、岸井こずゑ、村井美代	2019.12
7	若年健常者の保菌調査で得られた MRSA クローンの多様性	共著		第92回日本細菌学会、名古屋市	○村井美代、岸井こずゑ、前川純子	2020.2
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C)			環境及び院内由来薬剤耐性菌におけるMLST解析を指標とした包括的監視体制の構築	研究分担者	2017.4~2020.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床検査概論		1	微生物検査の概要について講義を行った。
2	臨床微生物学Ⅰ	○	15	医学領域で重要となる微生物について、各微生物の特徴となる生物学的・科学的な性質に加え、その微生物が原因となる臨床事例を提示し、理解を深めることができた。
3	医療安全管理学	○	8	医の倫理、医療安全、臨床検査技師が行う検体採取について講義を行った。また、具体的な臨床事例を多数活用した講義を展開するため、各分野の専門家にご講義いただく機会を設けた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	臨床微生物学Ⅱ	○	15	直接塗抹標本の臨床事例を多数活用し、その重要性を理解するよう指導した。また、ウイルス学については最新の知見を交え、学生の興味を掻き立てるよう工夫した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	遺伝子・染色体検査学実習		4	4年次学生を対象に、Multiplex PCR法を用いて複数の薬剤耐性遺伝子を検出し、結果を正確に判断することを目標とした実習を行なった。
2	臨床微生物学実習	○	24	3年次学生を対象に、臨床において実際の微生物検査を滞りなく行うことができる基礎の習得を目標として模擬検体を用いた実習を行った。
3	微生物学実習		24	2年次学生を対象に、微生物検査における基礎的な手技の習得を目標に、個々の学生に対して細やかな実技指導を行った。
4	ヒューマンケア体験実習		2019.4~2019.9	当該実習は1年次学生が入学後初めて行う学外実習であり、学生は様々な不安を抱えていた。その不安軽減のため、細やかな説明を心掛けた。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.3-2019.12	主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文	2019.4-	主指導 (指導教員) 0名	副指導 (指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	ISO/TC212/WG4国内検討委員会	委員	2015.9-現在	
2	日本臨床微生物学会	評議委員	2015.2-現在	
3	日本臨床微生物学会	国際委員	2015.9-現在	
4	日本臨床微生物学会	制度管理委員	2016.4-現在	
4	日臨床検査学教育協議会	編集委員	2019.4-現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	倫理委員	2018.4-現在
2	学科等における委員会等	国家試験対策委員	2018.4-現在
3	大学広報活動	「保健医療福祉お仕事GUIDEBOOK」の作成	2018.10-2019.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス	2018.4-現在
5	学生支援	学年担任	2018.4-現在
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			